

うなばら



発行：新潟市立五十嵐小学校

新潟市西区寺尾西 4-23-1 (〒950-2064)

Tel.025-269-3117(代) Fax.025-269-3118

E-mail : e710ikarashi@city-niigata.ed.jp

HP アドレス : <http://www.ikarashi-e.city-niigata.ed.jp/>

題字：第10代校長 小池守夫 様

なかよしチャレンジ 2018 ～笑顔無限大 楽46ツアー～

主体的な交流の推進部

主任

今年の全校遠足「なかよしチャレンジ 2018」では昨年同様、青山海岸で砂像をつくりました。今年も「どんな砂像をつくるか」「砂像にどんな題名を付けるか」「昼食、記念撮影、エンジョイアート(砂像の鑑賞)をどの順に行うか」について、なかよし班で相談して活動しました。

さらに今年度は、次の点についても児童が決めました。

- ① 「なかよしチャレンジ 2018」のツアー名⇒「笑顔無限大 楽46ツアー」に決定。
- ② 砂像づくりに必要な道具⇒スコップ、バケツ、食品のカップ、卵のケース、しゃもじなど。
- ③ ウォークラリーの内容⇒「虫さがし」「しりとり」「思い切り笑う」のミッション。
- ④ 遠足復路のコース⇒2つのコースから選択。

児童が相談し、考え、決定して活動する内容をプラスすることにより、児童一人一人がこれまで以上に、全校遠足「なかよしチャレンジ 2018」を成功させようと願い、頑張る姿を期待しました。

特に頑張ったのは、班長と班長をサポートする6年生でした。なかよし集会で活動内容を相談するときは、「笑顔無限大 楽46ツアー」の内容を頭に入れて話し合いを進めました。当日は、48のなかよし班がそれぞれにカスタマイズした「笑顔無限大 楽46ツアー」を実行するのですから、自分の班のメンバーで協力することが大切です。6年生は1日中、なかよし班のメンバーに声を掛けたり、次は何をすればよいかを考えたりしながら活動しました。学校に戻ってきた6年生が「5年生までの疲れと全然違う。体も疲れたけれど、すごく頭が疲れた。」と話していたそうです。6年生が1日中様々なことに心を配って活動したことが伝わります。

6年生の頑張りに応えるように、児童のふりかえりカードには次のような記述がありました。

「班別活動も面白かったです。『次にどうするか。』がすごく考えられていて、いいです。(他の班の) みんなもすごく頑張って(砂像を)つくっていることが分かります。でも、一番好きなのは自分の班の『船』です。(2年生)」「班のみんなと頑張って『ねているねこ』をつくり終えたときには、とても達成感がありうれしかったです。仲の良いみんなで作った砂像は、世界にたった一つだけの力作です。(4年生)」2人の児童は、自分のなかよし班の砂像に愛着を感じていることが分かります。様々なことをなかよし班で真剣に相談し、考え、決めた経緯と、「笑顔無限大 楽46ツアー」当日のダイナミックな活動、さらにはなかよし班のメンバーやボランティアさんとの楽しい関わりが、このような気持ちにさせたのだと思います。

また、6年生のふりかえりカードには「僕はこの『笑顔無限大 楽46ツアー』は大成功だったと思います。なぜなら、6年間で一番笑顔で終わったからです。(6年生)」と、緊張した1日を頑張りで抜いた達成感を味わう記述が多くありました。

この遠足を計画するにあたり、総勢110名の方々からご支援・ご協力をいただきました。

遠足の実施にあたり、地域教育コーディネーターの働き掛けに多くの保護者・地域・学生の方がボランティアとして参加くださいました。児童の見守りや、砂像づくりや会場の設営・運営・片付けもしていただきました。多くの方のおかげで児童の安心感がぐんと高まりました。本当にありがとうございました。

「来年はどこで何をするのか楽しみです。」と書いた児童の期待に応えるべく、全校遠足を通して児童が感じた達成感、充実感そして仲の深まりをこれからの学校生活、さらには「なかよしチャレンジ2019」につなげていきたいと考えています。

トピック五十嵐

9月13日（木）の全校遠足「なかよしチャレンジ2018 ～笑顔無限大 楽46ツアー～」で子どもたちは縦割り班ごとに活動しました。異学年で協力し、たくさんの学びがありました。子どもたちにとって、思い出に残る活動になりました。

たのしかったなかよしチャレンジ

4年2組

ぼくがなかよしチャレンジでよかったことは、思いどおりの砂ぞうをつくることができた、ということです。しかもなかよし集会でぼくが提案したものをつくったので、とてもうれしかったです。

がんばったことは、同じはんのますみさんといっしょに、砂をたくさん積んだことです。積んだおかげで地面には深い穴ができました。

他の人の行動ですごいと思ったことは、6年生のはん長のみくさんがリーダーになって、てきぱきとみんなに指示をしていたことです。

さ来年、ぼくたちは6年生なので、今年の6年生みたいにてきぱきと指示をして、とてもカッコいい、なかよしチャレンジのリーダーになりたいです。

楽しかった砂像作り

4年3組

9月13日、全校遠足で青山海岸に行きました。今年のスローガンは、「笑顔無限大楽46ツアー ～なかよしチャレンジ2018～」です。

一番心に残っている活動は、なかよし班での砂像づくりです。わたしたちの班は、校長先生が以前デザインしたピエロの顔をつくりました。砂を海水でかためて、ピエロの形になるように一生けんめいをつくりました。とちゅうでくずれそうになったときもあったけど、みんなで協力してがんばりました。初めての1年生も、笑顔で砂像をつくっていました。46周年なので、顔に46の数字を入れました。とてもすてきな砂像になったので、完成したときはみんなではく手をしてよろこびました。

思い出に残る一日になりました。

学校の一角

今 たんぽぽでは

たんぽぽ2組担任

今年度は、子ども同士が生き生きと対話し、学びを深めることができるように活動を工夫しています。

たんぽぽ1組・2組では、教科と領域を合わせた生活単元学習に力を入れて取り組んでいます。これまでに、「たんぽぽすごろく」や「たんぽぽかるた」などを行い、みんなで一つのものを作り上げたり、作ったもので楽しく関わって遊んだりしました。

たんぽぽ3組・4組では、教科学習の他に、自立活動の時間があります。「今よりプラス1」を合言葉に、つまずきや苦手さと向き合いながら、改善しようとする力を身に付ける学習をしています。

また、友達と仲良くお互いに気持ちよく過ごすための言葉や行動の仕方を考えたり練習したりしています。



山に咲く花のように

1年1組担任

「弥彦角田の峰はるか 学ぶひとみの輝きに」…校歌の3番の歌い出しです。優しく素直な五十嵐の子どもたち。その子どもたちと一緒に毎日過ごすことができる幸せを感じています。

「先生！アサガオが咲いたよ！」「給食が全部食べられたよ！」「すごい風だけどがんばって来たよ！」1年生の子どもたちと、日々の発見や感動、がんばりを共に喜び合っています。

私は、休日、時折登山をしています。山に咲く花を見るたびに、子どもたちのことを思います。この花のように、たくましく、そして美しく成長することを願っています。